

# びふか 議会 です

こんにちは。

2023年2月  
北海道／美深町議会



笑顔で接客  
「いらっしゃいませ〜」

**補正予算** 電気・燃料代を補正 …… 2～4 ページ

**一般質問** 4議員が町政を質す …… 5～9 ページ

**委員会報告** 町内街灯事業の現状と課題  
美深高校・高等養護学校の教育推進 …… 10～11 ページ

**特集** 親しまれる広報を目指して …… 14～15 ページ

**街 & 仲間インタビュー** 美深こども一輪車クラブの皆さん  
びふか陽だまり・荒谷香乃葉さん …… 16 ページ

## 第124号

美深町議会

検索

ホームページから  
議会の情報をご覧  
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい  
再生紙を使用しています。

# 令和4年 第4回定例会

## 物価高騰・町内の各公共施設に総額2070万円 電気・燃料代に対処

第4回定例会は12月13日に開会し補正予算・条例改正等が提案され、15日に4議員による一般質問が行われました。北はるか農業協同組合からの請願を受け、14日に産業教育常任委員会で審査し、採択すべきものとして意見を付して本会議で報告。16日の本会議で追加された意見書を含め、全議案を可決し閉会しました。

### 一般会計 補正予算

コロナ感染の影響で中止とした事業や事業の確定・変更、入札減により減額が発生。一方、物価高騰の影響により、各会計で不足する町内各公共施設の燃料・光熱水費と、経年劣化による修繕費が増額補正されましたが、最終的には1億4394万円の減額補正となりました。

また町内外から1千60万円の寄附金があり、学校備品としてピアノ4台を購入し、町内の小中学校と幼児センターへ配備されます。

### 主な質疑

物産展示館の  
火災報知器

**問** 物産展示館の火災報知器の誤作動が以前からあったが、対応が遅れた原因は。

**答** 機器の選定と受注で時間を要した。取り付けは3月になるが、それまでは警備会社のシステムで対応する。

農業支援給付金

**問** 給付金と補正で減額となった内訳は。

**答** 内訳は肥料、燃料、配合飼料である。

燃料が22万円、配合飼料が10万円ほど想定より上回り、肥料は240万円の減額。肥料については、農協からの情報をもとに見込みを算定したが、農協以外の取引分が想定を下回り、減額となった。

COM1000の  
空調設備

**問** 修繕内容が空調設備の不具合によるものだが、今年度に行なっている修繕と関係があるのか。

主な補正	金額	主な内訳
保健衛生費	△3,306万円	厚生病院運営支援金等
農業費	△1,555万円	農業農村整備事業等
道路橋りょう費	△10,345万円	道路整備事業変更等
社会福祉費	△561万円	後期高齢者医療給付費等
商工費	809万円	快適住まいづくり・美深温泉修繕費等
総務管理費	208万円	庁舎燃料・光熱水費等
教育総務費	1,000万円	備品購入（ピアノ）

原案可決 全員賛成

質問者  
荒川・齊藤  
藤原

**答** 今回の修繕はボイラーで、夏の修繕とは別である。

## 介護保険 特別会計補正予算

配食サービスの利用

問

利用料の追加補正の内訳は。

答

令和4年度は21人が利用し、想定よりも1100食分の追加注文があった。

質問者

岩崎

原案可決 全員賛成

## 条例制定

職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例

職員の定年を令和13年度までに65歳に段階的に引き上げ、関わる給与等を定めるもの。

原案可決 全員賛成

## 条例一部改正

美深町議会議員及び美深町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

美深町長等の給与に関する条例及び美深町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

条例

職員の給与に関する条例

原案可決

全員賛成

## 指定管理者の指定

ほっとプラザ☆スマイル

令和10年3月31日まで5年間、引き続き第2自治会を指定管理者とするもの。

原案可決 全員賛成

森林公園びふかアイランド及び美深町物産展示館「双子座館」

令和10年3月31日まで5年間、引き続き美深振興公社を指定管理者とするもの。

なぜ5年なのか

問

契約期間を5年としている根拠は。

答

指定管理の目安として3年から5年としている。運営の経営計画書が5年なので、それに合わせて5年としている。

質問者

岩崎

【討論が行われた後、採決となりました。】

原案可決 賛成多数



### 反対討論-2

これまで指定管理を受けてきた実績は認めるが、指定期間が5年は長すぎる。今後、公募を行っていくためにも期間を短縮すべき。(岩崎議員)



### 賛成討論-1

公募の理念は理解するが、競争となる状況になく、また指定業者が変更になっても対応が間に合わず、事業が停止した事例もある。運営実績を評価しての選定判断は妥当であり、様々な課題は5年の間で改善する努力をしていくべき。(藤原議員)



### 反対討論-1

公募によらない管理者の指定は、競争原理を阻害しており、公募とするべき。地場産品の開発、販路拡大や情報発信など産業活性化を担う施設であり、経営手法や人材不足など課題もある。発展的に経営改善に向かう事業者が適切と考え反対する。(小口議員)

用語解説

討論とは 提案された議案に対し賛成、反対の意見を述べること

# 農業生産資材高騰対策 対応に関する請願

## 請願者 北はるか農業協同組合

### ①酪農・畜産経営安定対策

過去最高値まで急騰した配合飼料価格等により営農コストが増加し、とりわけ酪農経営においては生乳生産の抑制に取り組んでいる中、コスト増加分が価格転嫁できず、加えて初生子牛価格等の暴落等により所得が激減しており、生産現場や農業団体の経営努力のみでは対応しきれない状況にあることから、飼料高騰対策をはじめ酪農・畜産農家の経営安定に資する対策を講じる(こと)。

### ②営農継続を目的とした金融支援対策

肥料原料等の急激な価格高騰、酪農においては生乳生産の抑制、畜産個体販売価格の暴落など、営農形態に係らず次年度に向けた再生産資金の確保が厳しい状況にあることから、金利負担及び保証料負担の軽減対策を講じる(こと)。

### 産業教育常任委員会 付託審査

「JA北はるか」と紹介議員から本件の趣旨及び現在の農業情勢等の説明を受け、請願内容を審査し、2項目の附帯意見を加え採択すべきものとして本会議に報告されました。

#### 【附帯意見】

①配合飼料の高騰分の農家負担を補填することで、負担増を最小限に抑える(こと)。

②資材高騰による資金繰りのための借入金に対する金利補填を行うことで、継続した営農活動ができるよう配慮する(こと)。

請願採択 全員賛成

### 採択した意見書

「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直し、すべての子どもたちにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書  
高校の再編・統合は、広大な北海道の実態に合わず、子どもの通学など多くの問題があり、見直しが必要とする内容。

(提出先)

北海道知事  
北海道教育委員会

詳細は  
こちらで  
ご覧ください  
意見書  
はこちら  
をご覧ください



### 人事案件

固定資産評価審査委員会委員

園部 一正 氏の再任  
に同意。

(令和7年12月まで)

### 第4回臨時会

11月4日

#### コロナ対策・第12弾

生活や経済への影響緩和へ、物価高騰緊急支援給付金、省エネルギー照明導入推進、福祉施設等エネルギー高騰対策への給付事業。

#### 町民に物価高支援は

物価高について町の支援は。

国の施策として住民税が非課税世帯への支援に加え、均等割世帯も支援対象とした。その他は「プレミアム商品券」の割り増し分と「まんぷく券」が支援となる。

#### 福祉施設への対策

福祉施設・医療機関の燃料高騰対策支援給付金の対象事業所は。

医療機関2施設、入所・通所を行っている介護施設6施設、障害者施設で13施設、児童施設で1施設を対象としている。

#### LED照明を補助

事業内容と方法は。

住宅の蛍光灯・白熱灯を町内の登録業者からLED照明に買い替えると、世帯主に3分の2(上限4万円)を補助する。

※事業は1月31日で終了しています。

質問者 藤原・岩崎

原案可決 全員賛成



## 4議員 町政を問う

# 一般質問

配信中!!

YouTube

それぞれのQRコードから見られます

### 小口 英治 議員



- 令和5年度に向けた重点施策はなにを目指すのか

### 名取 明美 議員



- 今後の認知症対策について

### 荒川 賢一 議員



- 地域おこし協力隊の拡充について
- 公共施設の総合的な管理の考え方等について
- 用途指定のふるさと納税寄附金の有効活用について
- 休日における部活動の地域移行について

### 岩崎 泰好 議員



- コロナ禍は続く子どもたちの「学びの環境」充実が急務では
- 屋根発電の普及に力をいれては



一般質問とは・・・

各議員が町政に対する自らの考えを基に行政機関の考えを伺うものです。期日までに質問通告書を提出した議員が質問できるもので、全議員に質問する権利があります。一般質問の各ページは、質問した議員自身が質疑を要約し原稿作成しています。

●令和5年度に向けた重点施策はなにを目指すのか



小口 英治 議員

空地・空き家対策

質問

近年、特に市街地区における空地・空き家が増加している。

美しい町並みの保全・荒廃化防止の課題解決に向けた具体的な方策は。

町長

転居される町民から情報提供をされるが、少数にとどまっている。

「快適住まいづくり条例」でも、一定の効果が  
出ている。

循環型農業の取組

質問

肥料高騰における、地域資源の有効利用による循環

型農業の取り組みはどうか。

町長

国・道の支援に先行して農業支援給付金を実施、土壌診断による適正な施肥を実施している。



急激に進む商業地区の建物の解体

特養の整備計画

質問

特別養護老人ホームにおける人材確保の現状と、施設整備計画の現状は。

町長

平成19年から美深福祉会に経営を委譲した。

人材確保においても努力しているが、大変厳しい状況と聞いている。

第6次総合計画にも示されている移転改築計画は、現在、協議の最中である。

山村留学の課題

質問

山村留学についての現状と課題、特認校制度の周知理解度の現状は。

教育長

今年度当初20人、うち山村留学は15人でスタート。各学年偏りをなくすることが課題のひとつ。特認校は、各学校を通じて周知している。

子どもの意見

まちづくりへ

質問

子どもの意見を町づくりに反

映させるには、住民参画・学校教育・社会教育などの手法があるが、子どもの意見を受ける場や町づくりに参画できる仕組みづくりの考え方は。

教育長

まずは子どもたちが美深に興味を持ち、ふるさとに愛着を持つことに育ることが大切で、ふるさと教育の中で意見があれば学校を通じて意見を出してもらうのも一つの方策。

中・高校生のシニアリーダーなど、地域での声を聴く機会もある。子どもの意見を適切に反映させるには、理事者の考えのもと一緒に考えていき教育委員会が突出することはできない。

質問

教育委員会は独立機関の認識だが、これは問題発言だ。

子どものスポーツ・文化活動の充実に向け、指導者の現状と課題克服の考え方は。

教育長

部活動の指導者は現状充  
足している。  
指導要領の中でも生徒が自主的に取り組む課外活動で学校内の対応が基本だが、必要があれば協議する。新たな部活動より少子化で廃部等の問題の方が心配。



全国大会出場的美深高校写真部の写真展



名取 明美 議員

## ●今後の認知症対策について

### 問

## 認知症サポーターの必要性とIT活用

### 答

## 認知症問題の検討はこれからも大切

**質問** 認知症サポーター養成講座の参加者増加に向けた取り組みを行ってみてはどうか。

**町長** 町では平成22年から行われ、参加者は300人を超える。夜間の講座を行い、数多くの方が参加できるように行っていく。

美深町は8%でサポーターになる方が少ない。組織として啓蒙活動を行うべき。

オレンジカフェが開催されているが、サポーターの方が少ない印象。行政だけではなく、町民と一緒に進めていければいいと思う。

**質問** 認知症やその疑いのある方の行方不明対策についてどのように考えているか。

**町長** 認知症高齢者の行方不明については、数件発生している。住民の協力により発見されているが、全道的には死亡している場合もある。

町では「SOSネットワーク」を設置して認知症の方を事前登録し、発見につなげる活動を行っている。今後も、家族を対象として登録を呼びかけていく。



**質問** GPS端末機を活用して、行方不明者を発見するシステムの構築を行っている必要があるのではないか。

**町長** 認知症の相談時にGPSを使った見守り用の機器の導入を検討しているが、これが有効であるかは不明。

GPSをどのように所持してもらうのか、独居の方はどうするか等の課題がある。

**質問** 「オレンジリング」が有料化したことについてどう思うか。

**町長** 現状、予算がつけられるかは不明だが、担当課を含めて積極的に事業をすすめたい。

**質問** 地方では畑や林が多い。美深町の環境を考えると、IT活用の必要性があると思うか。

**町長** IT活用は有効な方法ではあるが、家族や周囲の人の理解が大切。



**質問** 現状よりも一歩進んだ認知症の方の行方不明対策が必要だと思うか考えは。

**町長** 福祉部門で検討する機会を設けるといい。認知症問題はあるため大切にしていきたい。

### 用語解説

**オレンジリングとは**  
認知症の方を支援する人がつけている目印となるリストバンド



- 地域おこし協力隊の拡充について
- 公共施設の総合的な管理の考え方等について
- 用途指定のふるさと納税寄附金の有効活用について
- 休日における部活動の地域移行について



荒川 賢一 議員

**問** 協力隊を  
商工業後継対策に

**答** 検討を加えたい

**質問** 本町の商工業者は、高齢化、後継者不足が大きな課題となっている。課題解決に向けて、地域おこし協力隊を活用できないか。

**質問** 商工業は「商業」を行って、商業として隊員を募集している町の例もあり、後継者対策として募集してもよいのではないか。

令和3年度・商工会による後継者調査  
商工会加盟会員数（161事業所）  
アンケート回答数（91事業所）

回答内容	回答事業所数
事業後継者なし	62
廃業を検討	8
人材斡旋・紹介を望む	37

回答率56.5%

**町長** 現在、商工会に1人を配属し、事業支援をしている。来年度も配属の要望があり、事業の進展に期待する。

**町長** 隊員の拡充には、課題がある。商工会への配属は、事業支援に繋がると考え

商工会が抱える現在の課題は認識しており、後継対策としての協力隊の活用は検討を加えたい。

**問**

どう対応  
「部活動を地域で」

**答** 関係団体と  
協議が必要

**質問**

学校の部活動改革では、令和5年度から7年度にかけて、休日の部活動を段階的に地域に移行していくことが基本と提言されたが、今後の対応とスケジュールは。

融合した部活動の実現に向け、教育、スポーツ関係者が協力しながら子どもたちが望む部活動の実現を目指したい。

**教育長**

現在、国と道のガイドラインに沿って、美深中学校の部活動の実態調査や道教委の説明会に参加し情報収集を進めている。  
学校と地域が共同・

指導環境面では、資格取得や講習の受講はこれまでの制度が活用できるが、新たな予算措置が必要になることも考えられる。

今後のスケジュールは美深中学校の生徒数や、部活動の展開と推計を踏まえ、スポーツ協会やスポーツクラブ、

PTAなどの協議が必要で、先進地の状況や道の推進計画を参考に進めたい。

**質問**

スポーツ協会やクラブの内容を見直すきっかけになるのではないかと。道のアドバイザーの指導を仰ぐことは考えていないのか。

**教育長**

当面は土日の対応に関するところだが、新しいスポーツに触れる機会になることも考えられ、アドバイスが必要な場合は調整したい。

▼このほか、「公共施設の総合的な管理の考え方」「用途指定のふるさと納税寄附金の有効活用」について質問。





岩崎 泰好 議員

- コロナ禍は続く 子どもたちの「学びの環境」充実が急務では
- 屋根発電の普及に力を入れては

問

教育の充実には  
学校図書館に学校司書の配置が必要では

答

今後、人事の中で  
できるだけ配慮

質問

令和2年の全国一斉休校から2年が経過したが、未だ新型コロナウイルス感染状況は終息しておらず、コロナ禍前の学校生活に戻れない現実にある。「学びの環境」充実について伺う。

デジタル教科書導入は

新学習指導要領を踏まえて、これまでの紙の教科書を使用しなが

ら、必要に応じて学習者用デジタル教科書の併用が可能となった。

デジタル教科書の導入による教育環境の改善や、学級閉鎖時にも活用できるオンライン授業の取り組みについての考えは。

教育長

令和3年度から、実証事業に参加しており、小学校は全学年で算数、中学校は数学。令和4年度は、小学校5・6年、中学校の英語。様々な手法で、学びの効果や活用について検証中。

コロナ感染による、3日間から5日間のクラス閉鎖があったが、一部学年で家庭と学校をつなぎ端末タブレット

質問

今年度からの第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」では、学校図書館の蔵書数の整備、新聞を小学校2紙中学校3紙配備、学校司書を小中学校1・3校に1人配置としているが、現状と今後の対応は。

学校司書の配置は

質問

今年度からの第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」の内容は、10月の全道の

教育長

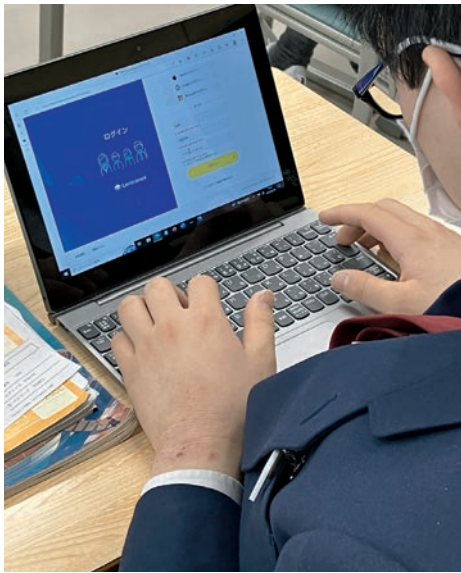
平成26年から学校図書館法改正により学校司書を置くように定められたが、小規模校にあつては努力義務となっている。司書教諭の資格者が、学校図書館の運営を行っているのが現状。「学校図書館図書整備等5か年計画」の内容は、10月の全道の

質問

「学びの環境」充実について、財源確保の観点から町長の所見は。

町長

教育の振興は町政の基本として捉えており、学校改築や学校給食の実施、タブレットの導入など進めてきた。交付税措置は一般財源なので、全体の教育費の中で考えていく。



デジタル教科書が鉛筆やノートとなるのはいつ？

▼このほか、新エネルギー対策「屋根発電の普及に力を入れては」について質問。

町内の街灯の現状と課題・マイナンバーカードの交付状況

調査日

令和4年10月6日

調査内容

①維持管理の現状・LED化に向けた今後の取組みと課題

街灯事業の現状は

現在、町内には自治会を管理者とした街灯719本と、大通り・駅前通りなど、商店会と地域で街灯組合を結成し商工会が管理者となっている146本の街灯があり、電気代の85%、街灯機器や電球などを町が全額補助している。また国や道が管理している交通安全灯として設置している街灯を含めると、町全体で約1000本近くの街灯、防犯灯があり、町民の安心で安全な暮らしの実現に大いに役立っている。



これまでの街灯は、白熱灯や水銀灯、ナトリウム灯であったが、現在は省エネタイプや消費電力の低いLEDが主流となっている。ただ、省エネタイプのももの生産が終了しており、今後の修繕はLEDへの転換が必須となる。

北電との定額契約は、器具の変更により発生する契約内容の変更を行い電気代の抑制を行っている。

街灯事業の今後はLEDは省エネ・耐久性で優れているが、価格が高価で予算の課題もある。

現在、取り組み始めた「脱炭素」にも有効であり、計画的な予算措置を行い事業遂行されることが重要である。

また、各街灯組合等と役場担当課で管理情報の共有化が必要で、町も定期的の実態調査するなど、今後も円滑

な運営・管理業務が継続されていくことが必要である。

②マイナンバーカードの交付現状

カード発行の現状は

カード発行は8月末で1345枚(33.7%)となっている。

カードの作製はスマホやパソコンによるオンライン申請、郵送申請、役場窓口への来庁



今後、設置が進む駅前・大通りのLEDタイプの街路灯

申請があり、窓口では一人当たり30分前後の時間がかかり、人数が多い場合は時間を延長して対応している。

世代別の発行状況は、30・50・60代で発行率が40%を超えるが、カード取得後の環境整備がまだ整っておらず、保険証として利用するにも、医療機関等のすべてが導入されるまで不便さが解消されない。

今後予想されること

今後は健康保険証や運転免許証をカードに一元化することが予定され、引き続き対応が求められる状況で、独自のPRも必要になることも考えられる。

また、カードの有効利用で地域独自のサービスの提供等の余地もあり、課題として研究するべきである。

# 美深高等学校および美深高等養護学校の教育推進について 産業教育常任委員会

調査日

令和4年10月12日

調査内容

美深高等学校教育振興協議会および美深高等養護学校協力会に対する支援策の現状と今後のあり方

美深高等学校の入学者は平成25年度から令和4年度までの10年間において、ほぼ毎年20人以上、最大で29人の生徒数を確保している。

美深高等学校教育振興協議会を通じた町の支援は、通学費助成や下宿費の助成をはじめ、インターネット通信講座の受講費用助成、土曜講習の開催、講習テキストの購入費用助成、資格取得や模擬試験等検定料の助成といった教育強化事業。インターネットシブな

どのキャリア育成事業、教科書・副教材等購入費用を助成する教育充実事業や部活動充実事業、学校案内パンフレットを活用した広報活動など様々な支援を行っている。

加えて平成28年から実施している返済不要の美深高等学校卒業生奨学金制度も奏功して、近年では大学や専門学校への進学者数が増加している。



美深高校軽音部のメンバー

美深高等養護学校協力会への支援状況は、町内出生者へ生徒が作製した木工製品等を寄贈する地域連携事業をはじめ、映画鑑賞会などの研修会費用助成や学校祭等の学校行事経費助成、大会遠征費用等の助成、学習支援費用の助成、広報活動への助成など、幅広く支援を行っている。

美深高等養護学校は、町内出生者へ生徒が作製した木工製品等を寄贈する地域連携事業をはじめ、映画鑑賞会などの研修会費用助成や学校祭等の学校行事経費助成、大会遠征費用等の助成、学習支援費用の助成、広報活動への助成など、幅広く支援を行っている。

## 調査のまとめ

美深高等学校教育振興協議会や美深高等養護学校協力会を通じた町の支援は永きに渡っており、時代の流れに沿った継続した支援が、今日の学校存続に寄与していることは大いに評価する。

しかし、近年では著しい人口減少や出生率の低下など町内の子どもの数も減少し、将来的な学校存続においては、生徒の安定確保が喫緊の課題である。

美深高校卒業生奨学金制度は、主に隣接する市町村からの入学者増に繋がっており、令

和4年度の入学者22人の内、ほぼ半数以上が町外からとなっている。美深中学校生徒数の減少や町外への進学希望者の増加で、学校存続は町外からの生徒獲得に依拠するところが大きい。

最近では美深高校軽音楽部が全国大会出場するなど、美深高等学校の新しい魅力となっている。そういった部活動の活性化や、高校生の「やりたい」「やってみたい」を実現させる学校づくりに、町教育行政と地域が手を差し伸べる取り組みを推進することが重要である。



議会の動き・予定

- 12/ 2 全員協議会
- 12/ 6 議会運営委員会
- 12/ 6 議会広報特別委員会
- 12/ 9 議会広報特別委員会
- 12/13 第4回定例会開会  
提案説明
- 12/13 議会広報特別委員会
- 12/14 産業教育常任委員会
- 12/15 第4回定例会  
一般質問
- 12/16 議会運営委員会
- 12/16 議案審議  
第4回定例会閉会
- 12/28 議会広報特別委員会
- 1/10 議会広報特別委員会
- 1/11 議会広報特別委員会
- 1/19 議会広報特別委員会
- 1/26 総務住民常任委員会  
所管事務調査
- 1/27 議会運営委員会
- 1/27 第1回臨時会
- 1/27 全員協議会
- 1/27 議会広報特別委員会
- 1/30 産業教育常任委員会  
所管事務調査
- 2/17 議会運営委員会
- 2/24 全員協議会
- 3月上旬 第1回定例会

# 次期議会のカタチ

12月議会で最終報告書 常任委員会は6人体制で

## 協議概要と方向性

▶人口減少や少子高齢化・介護・医療・産業など多様化する課題や住民ニーズに対応するため、議会のあり方や議会構成への議論と結論が必要として、令和3年9月から令和4年12月まで10回の全員協議会を開き、様々な視点から協議を進め報告書にまとめ、町に検討を要請しました。

## 主な協議内容

### 常任委員会構成と調査活動

- 多様化する町行政
- 議会機能の確保・充実
- 2委員会体制は必須
- 機能保持に6人体制で
- 先進地の調査活動実施

### 議員定数

- 町民の幅広い意見反映
- 多様な人材の参画
- 議会の役割・機能の確保
- 定数は11人を維持

### 議会選出 監査委員

### 政務活動

### タブレット 利活用

### 議会中継 録画配信

### 議員報酬

- 住民自治の充実の視点
- 低額が「なり手不足」誘発
- 社会情勢に応じた報酬

- 議場での傍聴が難しい
- 休日・夜間議会には課題
- インターネット配信に効果
- 一般質問から録画配信開始

人サポーターによる  
タール大会で、日本  
ワールドカップカ  
昨年暮れのサッカー

要でした。  
「当たり前」と言え  
「当たり前」と言え

額表記で1000千  
円というものがあ  
ますが、一般的に  
馴染まないのが、

います。

「わかりやすく伝  
える」という当たり  
前のことを第一に、



函岳のめ

「ごみ拾い」の行動が称賛を浴び、参加各国に広まりました。サポーターの一人が「来た時よりきれいにして帰る。日本では当たり前」と言ったことから、「当たり前」が各方面に広がりを見せました。そうはいっても最近道路のあちこちに、ごみが袋ごと捨てられています。ごみに対するマナーが低下し、「当たり前」の精神に変化が見られ心配になります。議会広報紙は、これからも言葉や表記だけでなく、内容的にも楽しめる企画も取り入れながら、自身は変化しても「わかりやすく伝える」この「当たり前」のことは変わらずに、編集の目標にしていきます。

藤原 芳幸 記

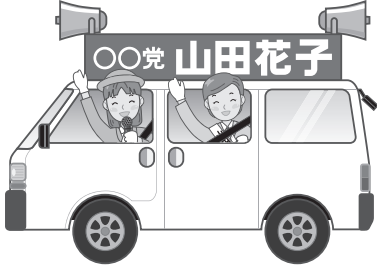


なり手不足の解消を目的に

# 選挙費用の一部、公費負担へ

美深町議会議員及び美深町長の選挙における  
選挙運動の公費負担に関する条例

## 4月の町長・議会議員選挙から可能に



令和3年3月議会で、選挙時の立候補者の負担軽減により、なり手不足の解消を目的とし、また全国の町村が同一基準で導入を進めているものでありこの条例が可決されました。令和5年の統一地方選挙より適用になりますが、物価の高騰により今議会でもかかる単価の改定が行われました。

公費負担の内容  
標記の範囲内で公的負担ができるようになり、候補者と契約した業者に支払われます。立候補者個人には支払われません。

### ①選挙運動用自動車

- 1.一般運送契約（ハイヤー契約）  
1日 64,500円まで
- 2.その他の契約  
ア.自動車借入契約 1日1台16,100円まで  
イ.燃料供給契約 1日 7,700円まで  
ウ.運転者雇用契約 1日1人12,500円まで

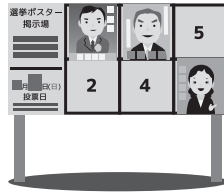
### ②選挙運動用ピラ（2種類まで作成可）

- 1.町長 5,000枚まで  
1枚単価 7.73円（上限38,650円まで）
- 2.議員 1,600枚まで  
1枚単価 7.73円（上限12,368円まで）

### ③選挙運動用ポスター（掲示場の数により1枚当たりの単価が異なる）

▶ 前回の美深町の場合の例で計算すると  
 (単価541.31円×34ヶ所+51,130円)÷34ヶ所=2,045.13円  
 1枚当たり 2,046円×34ヶ所以上で上限69,564円まで

同時に、公職選挙法の改正により供託金制度も町村に導入され、町長候補は旧来の50万円、議員候補は新たに15万円供託金納付が義務付けられます。



## 議会広報モニター

# 募集

仕事内容

年4回発行の議会広報へのアンケートにご回答

モニター期間

令和5年4月～  
令和6年3月（1年間）

募集期間

令和5年2月10日～  
令和5年3月31日

募集人員

10人程度 10代～80代  
各世代からご参加をお願いします

第3次のモニターを募集します。「開かれた議会づくり」に参加していただきませんか。

議会広報の役割は、時代と共に大きく変わってきました。議会で決まったことを「お知らせ」するに止まらず、住民の関心事を絞り込み積極的な情報発信と、住民と連携した広報へと進化をすすめています。「進んで手に取り、関心ごととして読みたくなる」編集の工夫と紙面づくりが必要となります。

「議会広報モニター制度」を立ち上げ、2年経過し、多くのご意見を参考に紙面刷新を続けています。

## 議員ができないこと しないこと寄付の禁止

議員は、公職選挙法で寄付行為などを禁止されています。  
美深町議会議員もこの適用を受けます。

お中元  
お歳暮  
お年賀



入学祝・卒業祝い



自治会の集會・  
旅行等への寸志  
飲食物の  
差入



地域の運動会・  
スポーツ大会への  
飲食物等の  
差入



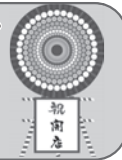
お祭りへの  
寄付  
差入



葬儀の  
花輪  
供花



落成式・  
開店祝  
等の  
花輪



結婚祝い  
香典  
※



病氣  
見舞い



※政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。

みんなで徹底しよう  
三不要運動

贈らない!

求めない!

受け取らない!

申し込み

01165516  
議会事務局

謝礼

薄謝

# これからも 読みやすく 親しまれる

# 議会広報を目指して

106号～108号の表紙を飾ったのは、70周年を迎えた美深高校写真部の作品です。



93号からは、時代にもマッチした紙面の刷新を図りました。



96号～99号では、私からのメッセージに投稿いただいた170人の町の顔を紹介しました。



町民の皆様には、今後とも議会広報をご愛読いただき、議会に對しても一層のご理解、ご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



美深町議会議長 倉兼政彦

町民との情報交換の役割100号を通過点に

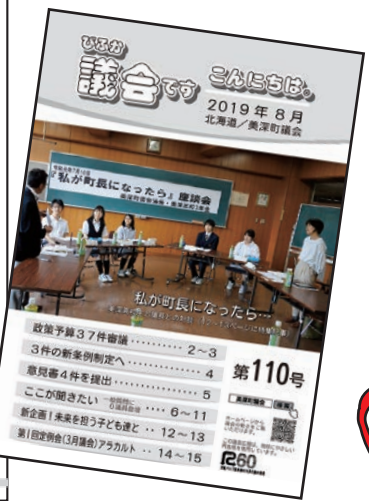
記念すべき100号には、議会広報の重要な役割について所見を述べる故・倉兼前議長の印象的な言葉もつづられています。





**新企画 未来を担う子ども達と 第110号**  
 高校を取り巻く社会環境は大きな変化を示しています。すでに知らなかった1世代からの影響も増え、将来15歳から20歳までの間に「未来を担う子ども達」が育ちます。その環境の中で、高校生活から「まちづくり」の経験を得て、社会人としての活躍に備えていきます。その環境の中で、高校生活から「まちづくり」の経験を得て、社会人としての活躍に備えていきます。  
 美深町議会 議会広報特別委員会  
 (2名は美深町中学校の中学生を筆記しています)

**私が町長になったら 座談会**  
 美深町議会 議会広報特別委員会  
 美深町中学校 3年生  
 美深町中学校 3年生  
 美深町中学校 3年生



議会広報モニターへのご応募有り難うございました。10名の方に担当いただきます。

110号～112号では、子どもたちとの対話を通してまちづくりに役立てようという企画記事を掲載しました。

**情報の発信 意見を聴く**  
**町民と議会の架け橋として**  
**広報活動**  
 ■議会広報 予告版 発行 3・6・9・12月  
 定期会の2日前 新聞折込でお届けします。  
 ■議会広報 速報版 発行 4・7・10・1月第2週  
 回覧板で全戸にお届けします。  
 ■議会広報 通常版 発行予定 5・8・11・2月第2週  
 回覧板で全戸にお届けします。

**広聴活動**  
 ■特集企画 企画を組み地域や団体などに取材します。  
 ■出前講座と意見交換会 気楽に集まって意見交換を開きます。申込みをお待ちしております。

■議会広報モニター 10名の町民モニターのご意見を広報発行に活かしていきます。



116号は、第41回北海道議会広報コンクールで入選作に選ばれました。



121号からは、私からのメッセージに代わり、街&仲インタビューを新企画に取り入れました。



最新の予告版と速報版は、それぞれ14号を数え、基本版をを読んでいただけるような紙面構成に工夫しています。

令和元年9月から、予告版速報版を加え年12回の発行体制を続けています。



117号からは、議会広報モニター制度を導入して、応募いただいた6人の町民モニターにご意見をいただいています。

**第3次 議会広報モニター募集します。**





# 美深こども一輪車クラブ

**今** 回は美深こども一輪車クラブの皆さんです。

**会** の結成はいつ？  
▼平成13年の結成で、今は年少から小学3年生までの11人で活動しています。

**ク** ラブに入ったきっかけは？  
▼一輪車が好きだったから。

▼幼稚園の時に乗れるようになったから。

▼指導の先生が演技しているのを見てやりたいといいました。

▼幼稚園で乗れるようにいっぱい練習しました！

**一** 輪車の練習方法は？  
▼壁を使ったり、お母さんに手をつないでもらったりしたり。

▼ひたすら乗り続ける！  
乗って、転んで、また乗る。

▼頭の中でイメージしてパーツとこいだらできるようなった。

沢山転んだよね

**頑** 張ったことは？  
▼一輪車に立って止まるやつ。見せる？  
わぁ上手だねえ。

▼アイドリリング！  
すごい！その場所に止まってる！

**う** れし  
かった  
事は？  
▼新しい技ができたとき。

▼片足乗りができたとき。

▼一輪車が初めて乗れたとき。

みんな一輪車が大好きなんだね。



**皆** さんにとつて一輪車とは？  
▼週一回の楽しみ。  
▼みんなを笑顔に出来る。

楽しいインタビューの時間でした。  
木曜日の19時から小学校体育館で練習していますので是非一緒に演技しましょう！

# 美深まちなか街&仲間インタビュー

## 新企画 第4弾

### 表紙を飾る人

**Q** 希望した理由は？  
料理が好きで、喫茶店で接客をすることが自分にとって大切だからです。

**Q** 今の仕事内容は？  
注文を取ったり、接客をしたりすることです。

**Q** 辛いことはない？  
集中力が切れてしまうことと、言葉遣いに気を付けることがつらかったです。



あらや このは 荒谷 香乃葉(20歳)  
びふか陽だまり 勤務

出身地:美深町  
星座:天秤座  
血液型:A型  
兄弟:1人(兄)  
愛称:このちゃん・このはちゃん  
荒谷さん・このは  
趣味:音楽を聴くこと  
幼い頃の夢:花屋さん  
性格:明るい、元気がいい



上司からの一言  
びふか陽だまり  
岩崎 甚一郎 施設長

**Q** 今後の意気込みを  
「びふか陽だまり」での勤務3年目として、集中力を切らさないように頑張りたいです。

**Q** これから、やってみたいことは？  
スポーツクラブに参加してみたいです。

**Q** 荒谷さんの仕事ぶりを紹介してください  
少しずつ接客の仕事にも自信が付き、先輩たちとも仲良く仕事をしています。最近は自分で気づいて仕事できるよう頑張っています。

**Q** 仕事・職場内で期待することは  
明るい性格で、若さ溢れる香乃葉さん。町民の皆さんがいつ来ても楽しく、ホッとできる「びふか陽だまり」を一緒に作ってほしいです。

**Q**: 荒谷さんへのアドバイスを  
仲間と仲良く仕事を続け、できることの幅を広げて、一般就労を目指しましょう！